

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2019年3月号(第125号)

発行責任者 佐藤 重松



2019. 2. 19 柳瀬荘黄林閣 散策路整備作業 (所沢の自然と農業)



時局講演会予告！

2019

5/14



原発問題を語る

講師：元スイス大使 村田光平氏

講師の基本理念

- * 新たな文明の創設
- * 「GDP 経済」から脱却し、最大多数の最大幸福を希求。
- * 原発問題・再生可能エネルギーの開発

今、国際社会は分断化、格差、エネルギー問題等多くの課題が山積しています。とりわけ国内では、原発問題が緊急の課題です。種々の角度からこの問題を考えることが必要と思われます。

皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時：2019年5月14日 受付：13:00、開演：13:30～

会場：新所沢公民館ホール

講師：村田光平氏 元スイス大使、東海学園大学教授

内容：現代社会と原発問題

参加費：無料

* 一般の方の参加も歓迎

問合先：ところざわ倶楽部 森野 TEL04-2939-9756

戸田 TEL090-2312-4683

新会員の声

春のひざし

楽悠クラブ、地球環境に学ぶ
食を通して所沢を知る会

木下 みえこ



今年ももうすぐ3月です。陽の光が穏やかでうらかな季節になります。これから所沢航空記念公園や東川の桜、砂川掘のしだれ桜など美しい景色も見られることで

しょう。「ところざわ倶楽部」に入会して数か月ですが、サークルで様々な活動を経験しています。

『楽悠』はオペラ鑑賞が中心です。豪華なオペラは難しそうなイメージもありますが実際にはわかりやすく、劇場に響きわたる歌手の歌唱力に感動して次回も楽しみにになります。また、もう一つの活動として自由参加の《混声合唱コーラス》が1月16日(土)から中央公民館の音楽室で開始されました。参加者を増やしましょう、お揃いのTシャツにしましょうとコーラスへの思いも膨らみます。

『地球環境に学ぶ』では、長年環境に携わって来られた知識豊富な方が多く、環境持寄り学習など多方面での活動が行われています。2月25日(月)は中央公民館でアル・ゴア元米副大統領の環境ドキュメンタリー《不都合な真実2》の再上映会が実施されました。

『食トコ』は食を通して健康や人との繋がりを大切にする活動です。2月は、男女共同参画推進センターで《子ども食堂》を知ろう!の当麻好子氏の講演が開かれました。次回からも料理実習や出前講座、また豊洲市場見学などが予定され、ボランティア(ぶどうの袋掛け、お茶摘み、フードバンクへの協力など)の計画もあります。市民大学修了後の先輩方との和やかな活動は、毎日の生活の糧になって元気でいられるように思います。

新サークル
会員募集

テニスサークルを作りませんか

23期生 佐古井 貞行

皆さん今日は。23期生を卒業して早2年以上が過ぎました。市民大学の2年間は本当に充実した2年間で、定年後の生き方をリセットするに十分な機能を果たしてくれたと思っています。



佐古井 貞行氏

おかげで私もOBとして思いがけない豊かな日々を送っていると思っています。

いつも思うのですがところざわ倶楽部は立派すぎます。会員のみなさんの市民的教養・学問的関心への熱意に

ただただ感心するばかりです。息がつまりそうな緊張感さへおぼえます。

どうでしょう。リラックスなサークルがあってもよいのではないのでしょうか。健康体操もかねて

テニスをやってみませんか。会の成立には6名以上という条件があります。リラックスタイム賛成という方は是非テニスサークル結成に参加してください。

テニスコートは北野運動場、航空公園、北中運動場、滝の城公園などにあります。参加してみようと思われる方は下記までメールまたは電話でご連絡ください。

メール ; s.sakoi@smail.plala.or.jp

携帯 ; 090-2141-7565

参加者が6名以上揃いましたら生涯学習センターの会議室を借りてテニスサークル結成の会を持ちたいと思います。

参加の連絡は3月23日までをお願いします。

期待してお待ちしております。よろしくお願いします。

特 別 寄 稿

『シルクロード回想』執筆記

渡邊 晴雄

『シルクロード』はドイツの地理学者 リヒト・ホーフエン が初めて使った言葉であり、人々に魅力的なイメージを与えている。

『シルクロード』がブームになったのは、NHK のテレビ放映からだったようである。日中共同による現地取材、喜多郎による音楽、石坂浩二による TV のナレーションは視聴者を捉えて離さなかった。

玄奘三蔵が長年の旅について記した「大唐西域記」が基になって書かれた伝奇小説「西遊記」は、人々の西域に対する関心を助長してきた。私は幼少の頃、母から寝物語に孫悟空の本を読んで貰っていた事を記憶している。又ラジオ放送で徳川夢声による講談の朗読を、試験の時でも欠かさずに聴いていた。

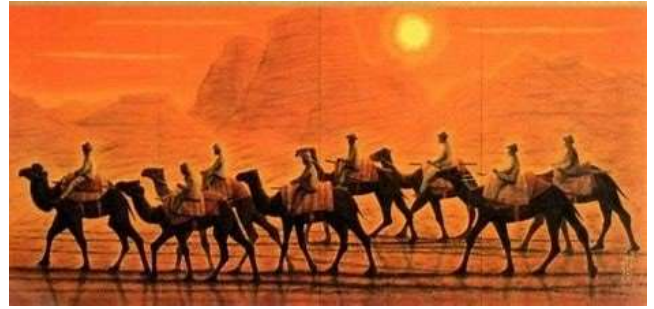


シルクロード図 (欧州から日本)

『シルクロード』への旅など、想像も出来なかったが、1999 年に日中青年研修協会へ入会し日中植林事業に関係し、中国の友人も多く出来て、状況が変わった。中国の旅行社に直接依頼する事も可能になり、安全に中国旅行を楽しめる環境も整った。2000 年 4 月には、母校である新潟県三条高校の同級生を募って、グループだけで、『シルクロード』の旅を計画し、友情を育みながら旅を楽しむことが出来た。

それに味を占めて毎年のように、同級生だけでの旅を中国中心に続けた。チベット、シャングリラ、九寨溝、黄山、トルコ、韓国、沖縄等々。

自分で文章を書く事についてだが、私は文芸サークル



シルクロード ラクダでの旅の図

『漆の実』の会員で毎年発行されている文集にエッセイを書いている。テーマは指定される場合もあるし、自由で良い事もある。いつも感ずるのは、自分の文章力の拙さである。

現役の時代に書いていたのは、ビジネス関連の文書のみだったから、上手い文章が書けなくても仕方ないと思っている。

曾野綾子さんはカトリック信徒であり、アフリカでの活動について講演で聴いたことがあった。著作では【神の汚れた手】などいくつか読んだことがあったが、最近読んだ曾野さんの著作の中で、次のような注目すべきフレーズを発見した。

“子孫に対して、金と物は残すな。記録を残せ”と。それを実行しようと思った。そして昨年、特に感動した旅を思い出して、『シルクロード回想』を書いた。その目的は、“子孫に対して感動した自分の人生体験を伝える”という事である。子孫が多分喜んでくれるだろう事を期待しながら。

形式は、写真＋エッセイ（P&E と呼ぶことにしている）とする。理由は、写真撮影が趣味で少しは自信があるし、文章では充分表現できていない処を写真がカバーしてくれるから。

私が参考になっている手本は、司馬遼太郎さんの『街道をゆく』である。私の P&E では、自分の知識が足りないところは、学習等により他から補強しながら、なるべく中身の濃い記述を心がけて行きたいと思っている。

今後書いていく P&E の領域は、旅行記に限らず、他への広がりも考えていきたい。

特別会員寄稿

食と農を地域にとりもどす

東京農工大学名誉教授
淵野 雄二郎

TPP11に続き、2月1日EUとの経済連携協定(EPA)発効、将来的には農林水産物の82%の関税を撤廃、並行して日米貿易交渉も開始された。日本農業はかつてない自由化レベルにさらされることになった。国内農業にどのような影響がでるのか、また、輸入農産物の安全性等についての十分な検証が必要である。ここでは、年度当初の対日交渉で注目される畜産物とコメ輸入増加について紹介しておく。

早くも牛肉輸入が急増一懸念される安全性

早くも牛肉輸入が急増一懸念される安全性

日欧EPA発効で、早くも畜産、酪農に影響が出ている。ソフトチーズなど3.1万tの輸入枠を設けて16年目に関税撤廃。脱脂肪乳・バターは6年間で生乳換算1.5万tまで関税を低下させる。これらはTPP水準を超える品目である。また、豚肉は10年目に関税撤廃、牛肉についてはTPP発効によって1年目から輸入関税が38.5%から27.5%に引き下げられ、豪州などからの輸入量が急増している。なお、16年目には9.0%まで引き下げられる。問題は肉牛、乳牛の安全性についてである。アメリカ産の牛肉には、日本では認可されていない発がん性のある成長ホルモンが投与されていることが伝えられている。EUは米国の牛肉、豚肉は全部ストップしているが、日米FTAでは規制なしに入ってきている。オーギービーフは大丈夫だという消費者もいるが、実は、豪州は、EUでは成長ホルモンが入っていたら購入してくれないので投与しないが、日本向けには投与しても大丈夫だと使い分けているそうである。他にも餌に混ぜる成長促進剤、遺伝子組み換え作物、除草剤、防カビ剤等々が投与されており、安価な輸入畜産物は疾病というリスクをとまなっている。

日欧EPAで変わる関税		
品目	現行	発効後
牛肉	38.5%	▶16年目に9%
チーズ (カマンベールなど)	原則29.8%	▶一定数量の低関税枠 枠内は16年目に無税
ワイン	ボトル1本で 最大約93円	▶即時撤廃
パスタ	1kg当たり30円	▶10年で撤廃
革製品	最高30%	▶10年または 15年で撤廃
自動車	乗用車10%	▶8年目に撤廃
家電製品	最高14%	▶テレビは6年目に撤廃
日本酒	100%当たり 最大7.7ユーロ	▶即時撤廃

コメ輸入増加と米価下落—コメ対策への影響

TPP11はアメリカが離脱する前のTPP約束事を引き継いでおり、コメについて、豪州産米の輸入増加が予想される。TPP約束ではアメリカに7万t、豪州に8400tの輸入枠を与えている。この輸入枠は、WTO約束のミニマムアクセス米(以下、MA米)とは別枠の主食用米のSBS米(政府が輸入業者から買い入れると同時に国内販売業者に売り渡す売買同時契約)枠10万tに上乗せされる。2017年度の豪州産米は2万7863tで33%のシェアを占めている。「圧倒的な低価格」がセールスポイントで、住友商事とコメ卸のヤマタネが取扱い、西友の店頭で単品販売されていることが報じられた。この豪州産米は短粒種の「うららか」で、「コシヒカリ」と「じょうどき」を交配した品種とされている。価格は1kg当り295円(税別)、北海道『ななつぼし』は374円(税引き換算)に比べて21%安い。さらに今後、豪州産を扱う輸入米ビジネスが活発化する可能性がある。米に関しては、もう一つの問題がある。政府は米生産調整を見直し、飼料米に補助金を出しているが、大量の外国産豚が輸入されるので、飼料米の売り先がなくなり、米対策も成り立たなくなるのではないかと危惧される。

食と農を地域に取り戻す

本来、国民に安全で安心な食料を提供する農業はきわめて公共性の高いものであり、グローバル化した国際市場に委ねるのではなく、限られた地域資源(農地及び周辺環境)を大事にし、生産者から加工流通業者、消費者が連携して“日本の食料自給率を高めていく”という共通の目標を掲げた取り組みが必要である。それは、①経済成長至上主義にあおられてきた食料・農業・農村政策の見直しであり、②人口減少と高齢化の進行のもとで、自由化の波を一番受ける、中山間地域対策であり、地域農業の振興と地域活性化を表裏一体のものとしての取り組み支援である。③もちろん食料生産の主体である農家の営農支援が基本になり、経営安定対策等の充実、新規就農者の就農環境整備が農政の柱になるが、消費者や生活主体としての市民との産消提携のネットワークを築き、安全・安心な食と農を地域に取り戻す運動に力を入れることが重要である。

「戦争と平和！」

第9回

「置いてきた毒ガス」若い人たちに伝えたい

方山 みどり

皆さんの中で、お読みになった方がいらっしゃるでしょうか？

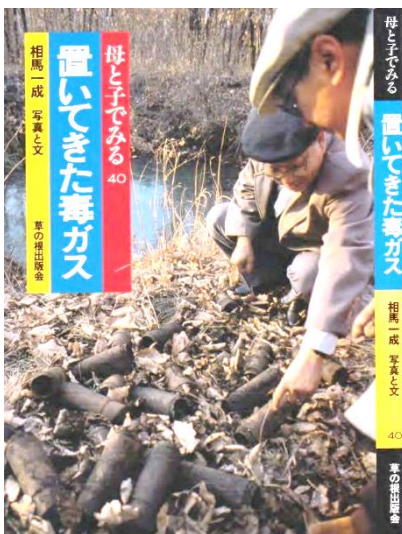
「満州国が残してきたもの・・・遺棄化学兵器処理続く」

昨年の夏、8月の読売新聞の見出しです。

「2018年8月の猛暑の中、中国吉林省のハルバ嶺の山あいで、ガスマスクと防護服をつけた日本人が旧日本軍の砲弾を手作業で掘り出している。日中両政府による旧日本軍の遺棄化学兵器の処理作業だ。」

ハルバ嶺には呼吸障害などを引き起こす有毒物質入り 30 万～40 万発の砲弾がさびたり、破損したりした危険な状態で埋められています。ハルバ嶺だけでなく、中国東北部に集中して埋められていて総数も分からないとの事です。今も厳冬期を除き、不発弾処理に習熟した元自衛隊員ら 200 人以上が常駐し活動しています。しかし、2022 年処理完了目標の達成は難しい状況だということです。

私は読んでびっくりしました。今も処理活動が続いているとは。処理は終わっているものと・・・友人達に聞いても知らない人がほとんどでした。最近の現地での様子がテレビ、新聞等で報道されていないのです。



時を同じくして、私は「置いてきた毒ガス」という本を入手しました。著者はカメラマンの相馬一成さん。驚いた事に私が市民大学1年次グループ時の企画委員だった方です。

相馬さんはある方との出会いから、旧日本軍が捨ててきた毒ガスが今でも中国に残っており、被害者が出ている事実を知りました。戦争末期、旧日本軍は敗走時、約 200 万発以上もの細菌兵器、

毒ガス砲弾を中国各地に遺棄しました。相馬さんはこの目でどうしても中国を見たいという思いが抑えられなくなったそうです。そして、中国各地を訪れ、被害者の声に心を寄せ取材をしました。相馬さんの写真は戦争の残虐さを映し出し、私達の胸に迫ります。相馬さんは、731 部隊があった場所に立ち、死体を焼いた焼却炉やボイラー室の煙突にカメラを向け、何回もシャッターを押し続けたそうです。どうしようもない怒り、悲しみが押し寄せたのだと思います。

私はこの本に出会い、改めて旧日本軍が戦争中に中国で犯した残虐な行為の数々を思い出しました。また、戦後 70 年以上経っても中国の人々に被害を与え、苦しめ続けてきた事実を知りました。戦後生まれの私ですが、中国の人々に心から謝りたいとも思いました。

戦争体験者が少なくなった今、戦争を語る時、多くの場合が被害者側になってしまいます。私達は「加害者側」としての事実も語る必要があるのではないのでしょうか？戦争に行く事は人を殺しに行くという事。そこに住んでいる人達の生活を破壊するという事。そして、戦争が終わっても被害は終わらず、人々を苦しめ続けるという事。若い人達に加害側の日本が行ってきた事実も語り継いでいかなければならないと強く思いました。

戦争を語る事が出来る最後の世代とも言える私達の役割はとても大きいと思います。私は若い人達に「平和」を守る後継者になって欲しいです。

「戦争は嫌！平和が大事！」と思える若者を一人でも二人でも増やしていけたらと思います。私達だけで発信し、満足していても広がりません。シニアと若い人達が融合し、交流しながら平和について語れる場を持ちたいです。身近な所から行動を起こしていきませんか？所沢にある大学の学生達、生協のママさん、保育園、幼稚園、学童クラブの職員、保護者等、まだまだ沢山いると思います。若い世代と「戦争と平和を考える会」などを一緒に企画し、共に学んでいきたいです。

サークル活動報告

最近の活動状況：料理教室・音楽療法・落語

脳活サークル 加曾利 厚雄

11 月例会はシニアに優しい健康教室として市民保健センターで講演と料理実習を行い、講演では健康のために良い食品は「まごたちにはやさしい」と習い、例えば「ま」は豆、「ご」は胡麻でした。作成した料理は「みそきのこご飯、鮭の焼きびたし、里芋のサラダ、きな粉味噌汁、抹茶プリン」でした。料理教室は脳活サークルの恒例となり、他のサークルからの参加者も増えてきました。



12 月例会は佐井佳代子先生の指導による「歌を中心とした音楽療法とお話し」でキーボードを



用いて歌声喫茶のような感じで歌いました。

高齢者の音楽療法においては、歌うこと・楽器を演奏すること・音楽に合わせて体を動かすこと・音楽を聴くことなど様々な活動プログラムを用いますが、今回は上記のテーマで進めました。

1 月は池袋演芸場で「落語観賞」：池袋演芸場は、演芸場としてのステイタスは最も低く、入場料も安く、収容人員も 93 人と最も少ない演芸場である。その



一方で演者一人当たりの持ち時間は他の寄席と比べて長めで噺家にとっては新しい演目や他の寄席ではできない演目を試す絶好の場となっています。観客の方も常連(?)が多く、演者と客の駆け引きも面白いと思いました。

初心を忘れず、学びを通して地域の歴史ロマンを

野老澤の歴史をたのしむ会 小川 雅愛

ところざわ倶楽部創立 2 年後の 2009 年にサークルに加入したので今年は 10 年目となる。2 月現在、会員は 37 名。先日の活動日に丁度、卒寿（90 歳）を迎えられた S さんほか、知識一杯のお元気な 80 代の方が多い。会則では目的を「学びを通して人との交流を深め楽しく地域の歴史ロマンに触れる」としており、歴史の専門的な研究の追求ではないことに、ゆったり学べ、たのしめる良さがある。そうした活動の一つ 2 月 7 日に「所沢の語り部講座『山口観音』&本堂」活動を実施した。前半は割烹「狭山」を会場に安田会員の語り部デビューとなる「山口観音」の沿革や歴史、文化財の解説の映像と丁寧な語りに静かに聴き入った。この語り部はサークル活動そのものではないが、個人がテーマを決め、深め、発展させ、内外の人に紹介するので、地域貢献につながるものと思う。午後は本堂や御本尊の拝観と住職さんの丁寧なご講話を拝聴した。今回、団体事前申し込みで特別拝観を受け付けていただいた。本堂天井の鳴き竜、本堂内上部を囲み、ぎっしりとかけられた指定文化財の絵馬や書、三十三年周期で公開される観音の意味など、見どころ聴きど



山口観音 本堂拝観風景

ころ一杯で、名利の感を深くした。竜は水神で火災予防の守護神であること、夜間の治安を考慮して本堂鳴き竜フロアを閉鎖したことなども初耳であった。以前、何回もサークルで立ち寄った山口観音の再発見の一日となった。今月の活動では 25 期所沢の歴史グループワークの発表会を企画しているが、年ごとに思いを新たにしている意味もあって特別に発表をお願いしている。

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. 葵の会 (水上 俊彦 080-6855-5868)

3月17日(日) 13:00～ 狭山市民会館 狂言「入間川」鑑賞
3月28日(木) お花見
4月12日(金) 中央公民館 13:00～13:30 例会、13:30～15:30 及川道之先生講義「古事記上巻⑦」(4月～7月4回シリーズ)

2. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

3月20日(水) 13:30～16:00 中央公民館
玉上会員による「最新中国事情」出張報告
4月17日(水) 13:30～16:00 中央公民館
時局放談会(分科会&全体会)

3. 活きいきシニア福祉の会 (川上 紀春 090-5573-2548)

3月27日(水) 10:00～ お花見計画中
4月24日(水) 13:00～15:00 生涯学習推進センター
福祉関連等持ち寄り学習

4. 楽悠クラブ (福田 晴男 事前連絡は不要です)

3月12日(火) ベートーヴェン 歌劇「フィデリオ」
カールバーム指揮 ベルリン・ドイツ・オペラ管弦楽団
4月9日(火) 亀井氏(元武蔵野音楽大学教授)による講演
& オペラ鑑賞
いずれも 13:15～ 中央公民館3階8・9 学習室

5. 食を通して所沢を知る会 (園田 ヒロ子 090-4005-1882)

3月19日(火) 10:00～13:00 ふらっと調理室
料理実習(韓国料理 参鶏湯)
4月16日(火) 10:00～12:00 ふらっと
出前講座(所沢の農業 講師:淵野先生)

6. 地域の自然を考える会 (岩本 賢次 2923-9324)

3月26日(火) 10:00～12:00 12号地保全整備
倒木・落枝の処理・整理、残渣置場の整理・修復、間伐など
ご希望の方、北中グラウンド西側のトトロ12号地に、参集ください(事前申し込み不要)

7. 地球環境に学ぶ (中島 峯生 2928-1161)

3月19日(火) 9:00～11:00 新所沢東公民館 研修室
定例会:環境持寄り学習、文化祭参加内容検討、他
4月16日(火) 9:00～11:00 新所沢東公民館 研修室
定例会:環境持寄り学習

8. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)

4月3日(水) 13:15～15:00 中央公民館 定例会
議題 シニア世代「市政ひよこ塾」企画
3月9日(土)、23日(土)、30日(土) 13:00～17:00
中央公民館ほか SPチアダンス練習日 見学大歓迎

9. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 2992-1751)

3月19日(火) 柳瀬荘黄林閣散策路整備ボランティア
4月11日(木) 定例会。13:00～15:00 新所沢公民館
4月24日(水) トトロ21号地管理作業
4月25日(木) 寺坂棚田と羊山公園里山ウォーク

10. 野老澤の歴史をたのしむ会 (小川 雅愛 2907-9476)

3月28日(木) 13:30～16:00 中央公民館 第25期修了生
所沢の歴史グループ ワーク発表&DVD「草の乱」鑑賞会
4月7日(日) フォール大佐教育団100周年記念式典見学
4月18日(木) 市内観光農園 いちご狩り&散策

11. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)

3月例会は休会。
4月6日(土) 10:00～12:00 中央公民館7号室
4月20日(土) 10:00～12:00 中央公民館7号室
引き続き「オセロ」を読みます。

12. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

3月12日(火) 10:00～12:30 西新井町会館 洋画「フィールド・オブ・ドリームス」(90年)ケビン・コスナー
3月26日(火) 10:00～14:30 西新井町会館 イベント有
邦画 劇場版「鬼平犯科帳」(95年) 中村吉右衛門
※ 季節の節句行事「桃の節句」(男の料理でおもてなし)

13. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)

3月25日(月) 13:30～ こどもと福祉の未来館 多目的2号
—— 会員の信じた「脳活」の話 ——

14. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

3月18日(月) 14:00～16:30 新所沢東公民館
市議選アンケート調査の報告、終われば自由討議や今年の計画の検討など
4月15日(月)「今年の計画の検討」など

15. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

3月15日(金) 10:00～12:30 子どもと福祉の未来館ボランティア活動室2号 定例会 「河童のお伊勢参り」「東光寺の金毘羅さん」「滝の城の竜」の読み合わせ。
4月19日(金) 定例会予定

理事会報告

2月18日(月) 第3回理事会を開催
・「新春の集い」(1/29)は好評であった。(2月号1面記事参照)
・「OB三団体交流会」(2/2)を開催し、共通の課題や今後の交流方法などを話し合った。交流会の定例開催や行事への相互参加を促進することが決まった。
・「講演会」講師 エスイス大使 村田光平氏、5月14日(火)に決定 テーマ(仮) 原発問題
・「文化祭・サークル発表会」実行委員会を2/18発足した。今後数回開催し具体化する。
・「文芸講座」講師 竹内好夫氏 テーマ平家物語 6～7月4回一般にも公開する。
・総会 11月22日(金) 11月27日(水)を仮決定。会場探す。
・テニスサークル、音楽サークル立ち上げの動きあり。歓迎。
第4回理事会 3月11日(月) 10:00～12:00
第2回実行委員会 同日 13:00～15:00 いずれも中央公民館

みんなの広場 第11回

脳活サークル 本橋 清子

「団塊の世代」です

「貴女達は死ぬまで競争よ」「何なら自分のお墓も早めに用意しておいた方が良くかもしれないよ」と、私が女子高に入学直後の雨天時の保健体育の授業で男性教師は半笑顔を話されたが、不安なるものは感じられない。

入学した小学校へ通学したのは2年間。3年生からは地域ごと新小学校へ転移。校舎は綺麗、通学時間は短縮。しかし、私達は昇降口が教室となる。床(渡り板)は不安定で着席するのが怖かった。4年生でークラス 65 名の通常の教室になる。このベビーブームの教育現場をどう対処しようとしたのか？

経済事情も上向きつつ、貧困ながらも希望が湧いた。中学生の頃は学習に集中でき、他校生をも意識し大勢の中で競う習慣も得た。遊び仲間、友人に恵まれ、結束力があつた。男尊女卑なる考えは薄く、仲間意識が強い。

現在、人生百年時代に自分らしい人生を想い望み、老いと健康不安を考え、伴侶を亡くしても生きる選択肢を持ち進みたいと願う。

墓の心配は「合葬墓」を望み生前予約をし、子供、孫に負担させず墓じまいをも考えての選択肢とか。

この世代、戦後の際どい時に生まれ、うねりもありの道。「団塊の世代」の名付け親・堺屋太一さん、この2月8日、永眠された。

枝を伝ふ雨の雫の春遅し

粕谷のぼる

むさし俳句会(三十一年二月) 作品抄



幼子の隠れ蓑なり春炬燵

春の雷友逝きしこと伝へらる

落味噲や廐のありし祖父の家
落味噲や妻の愚痴をば聞き流し

河瀬 俊彦
小林 貞夫

落味噲を添へし朝粥京泊り

小林 典子

濡れ縁に迎へ盆梅談義かな

佐藤 八郎

せせらぎを引き寄す小鉢落の味噲

白神 恵子

落味噲の焦けたるむすび分け合うて

高梨 千代

落味噲や父母なき里は異郷めく

高橋三加子

妹の生まれ逝きたる二月かな

高光 泉

春浅し土にかすかな息吹あり

利根川啓一

墓にして困民党碑落のたう

鈴木 征子

芳しく珈琲色の落の味噲

海老澤愛之助

落味噲や同窓会の艶話

荒幡千鶴子

道の駅自慢の一つ落の味噲

宮本 信生

落味噲を箸先に乗せ親の真似

平栗 彰子

落味噲や小粒ばかりで作りたる

橋本 佑子

落味噲を箸先に乗せ親の真似

中嶋 弘子

落味噲や箸先に乗せ親の真似

中嶋 弘子

落味噲や箸先に乗せ親の真似

中嶋 弘子

《編集後記》

まもなく平成の時代が終わり新しい元号になります。皆さん平成時代は如何でしたか？

平成7年の地下鉄サリン事件、あるいは同年の阪神・淡路大震災、また平成23年の東日本大震災、毎年のように全国各地で発生する豪雨による大規模な土砂災害等、歴史に残るような大事件、大災害が多く勃発した厳しい時代でしたね。昭和時代後期のバブルに少々浮かれた日本国民にとっては、良い薬になった時代ではなかったのでしょうか。最近自国第一主義を唱えるリーダーが世界中に現れ、怖い時代に向かっていくことが懸念されていますが、我々の子供、孫の時代となる新しい元号の時代は、争いの無い平穏な時代になって欲しいものですね。

(松尾 記)

「広場」問合せ 玉上 佳彦 (090-2497-1076)

川柳 四十 作品発表 中島峯生選

課題「天人」

川の字の隅で寝るパバ明日の糧
大人びた口の減らないガキ大将
初恋はやや大人びたクラスの子
親になる検定ならば何を問う
飲みすぎて天井まわる初コンパ
何時までも子供のままで年を取る

自由句

定年後スーツ着てみて肩が凝り
老夫婦外で食べても無い会話
みえみえのお世辞言われ振り返る
悔しいが女性に抜かれペダル踏む
繰り返す再発防止努めます
でたらめとウソと付度国破れ

庵 縄 鼻 どん りん 突 鼻 庵 りん 突 縄 どん
閑 文 ・ う ん 拍 閑 ・ 閑 ん 拍 文 ・ う
子 人 鬚 し 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子

次回(第41回) 課題「知る」そして「自由句」、
締切り日: 3月20日、担当中島まで、どなたでも

宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp FAX04-2928-1161